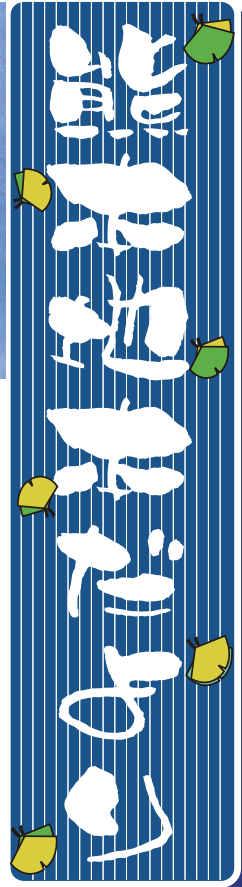


燃やせ情熱!!

募集の夏、到来!!



募集解禁!!

7月1日(月)、県内高校3年生への募集解禁に合わせ、隊友会、家族会及び募集相談員の方々と連携し、熊本市内の各地において一斉の市街地募集広報を実施しました。

当日はうだるような暑さの中、本部長の要望事項である「燃やせ情熱」「深めよ、連携」を体現すべく、普段は募集以外の業務(総務、渉外広報、就職支援等)に従事する部員も含め、50名以上が一致団結、熊本地方協力本部一丸となつて、ティッシュ、チラシ等の配布を実施しました。

熊本駅、水前寺駅、新水前寺駅及び藤崎宮前駅を利用する学生等に対し、自衛隊の認知度を向上させるとともに、自衛官募集の熱い想いをアピールしました。

▶ 本部長、自ら率先垂範
▶ 副本部長も笑顔で配布



▶ 協力団体の方々も笑顔で参戦
▶ ゆうポン出陣



6,000 部配布完了!

昨年度、自衛官の採用率は低調となり、今年度も募集対象者人数の減少、世界最大手の「TSMC」の熊本進出に伴う民間求人活動の活性化等、引き続き厳しい募集環境が続いています。

自衛隊熊本地方協力本部は、「情熱」と「連携」をもって一丸となり、1歩1歩を確実に踏みしめ前へ進み、小さな成果を確実に積み上げ、各関係協力団体及び地域の皆様のご協力のもと、失敗を恐れず果敢に挑戦し、募集広報活動を部員一同努めていく所存です。

方面総監初度視察

6月7日(金)、西部方面総監 荒井陸将による初度視察を受けました。

荒井方面総監は、熊本地方合同庁舎前において出迎えを受けた後、記念撮影、幹部挨拶、状況報告、施設巡視、各地域事務所長・広報官との懇談、本部長懇談の順で視察をされました。

状況報告では、熊本県における厳しい募集状況の内容や就職支援・予備自衛官業務の状況について説明を実施するとともに、令和6年度の取り組みについてご理解を頂きました。

また、各所長・広報官との懇談の場では、厳しい募集状況下で苦勞している現場の声を確認され、あらゆる施策やアイデアにより人的戦闘力の確保に努めてもらいたいとお言葉を頂くなど、終始和やかな雰囲気での初度視察でした。



出迎え



幹部挨拶



状況報告



施設巡視



懇談の様子



記念撮影

新隊員総合訓練見学

第42 即応機動連隊

～初めて間近で見る家族や先輩の訓練姿～

6月10日(月)、黒石原演習場において実施された第42 即応機動連隊総合訓練に新隊員のご家族と募集対象者を招待し、見学を実施しました。

当日の午前中まで雨天でしたが、午後からは太陽が出て、適度に風も感じられる心地よい見学日和となりました。

見学は北熊本駐屯地業務隊司令業務室による、訓練内容についての説明から始まりました。専門用語をなるべく使わず、ほふく前進の実演も交えて分かりやすい説明でした。

見学の最初は訓練の様子を後ろから眺めていたため、ご家族は「なんとなく右の子がうちの子の声のような気がする」と自信なさげでしたが、訓練終了後、水分補給をしている新隊員を遠くから見て、「あの歩き方はうちの子の歩き方だ」と確信された様子で嬉しそうに眺めていました。

参加者のところへ水分補給を終えた新隊員が来ると、「たくさん汗かいたね、頑張ったね」や「耳の中までドーラン塗るんだ、すごいね」と初めて会う自衛官姿の我が子や先輩との会話を楽しんでいました。

参加者からは、「高校の先輩が自衛官として頑張っていて、尊敬します」や「声だけでは本当にうちの子か自信がなかったけど、会えて良かったです」との感想がありました。



後ろから訓練を見守る



訓練を終え、会いに来る新隊員



一生の思い出になる家族写真

5 地対艦ミサイル連隊

～自衛官として成長した我が子や孫との再会～

5月26日(日)、黒石原演習場において実施された第5 地対艦ミサイル連隊総合訓練に新隊員のご家族を招待し、見学を実施しました。数日前から雨予報であったが、見学当日は晴れのち曇りで心配された雨も降らず、絶好の見学日和となりました。

出発前、ご家族からは「小さいとき、いつもおんぶしていた孫を見るのが楽しみ。」や「みんな同じ格好をしているから自分の子供が分かるかな?」と楽しげな会話が聞こえていました。

見学は、教育隊長中辻2等陸佐による新隊員教育の流れについての説明から始まり、「自分の子供を見ているような近い気持ちで教育しています。成長した彼らの横顔を是非見ていってください。」との挨拶がありました。

見学時の訓練は25キロ行軍で、3日分の着替えなどが入った背のうを背負い、小銃を抱え演習場内を行進していました。ご家族は隊列が見えてくるとカメラを構え、自衛官としての我が子や孫の姿を熱心に写真に収めていました。

大休止に入り、ご家族が新隊員に声を掛けると、訓練中は険しい表情であった新隊員も緊張がほだけ、少し照れくさそうな表情を見せていました。

ご家族からは、「3ヶ月前までは高校生だった子供たちが、新しい環境や訓練を経て、立派に成長している姿に感動しました。」や「幼い頃いつも自分から離れなかった孫が立派に成長していて、涙が出そうです。」と感涙に浸る感想が聞かれました。



見えてきた我が子や孫の姿



立派に成長した息子と握手



いつもおんぶしていた孫と

令和6年度
予備自衛官中央訓練に参加して



令和6年5月23日から27日に行われた予備自衛官中央訓練に熊本地本から瀬戸口予備2等陸曹が参加しました。参加した瀬戸口予備2等陸曹の所感を紹介します。

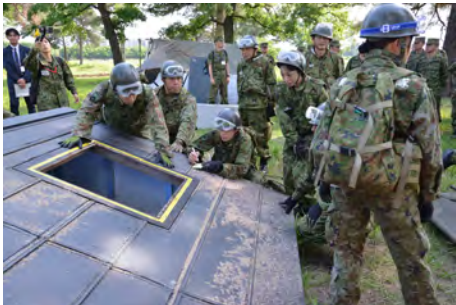
【「助けたい」の気持ちで行動に「災害派遣機能別訓練、総合訓練」】

当初、令和6年1月に発生した能登半島地震の対応を踏まえて、それぞれの特技や技能に応じた機能別（指揮所訓練、人命救助、システム防護、医療班、栄養士）の小隊で訓練が実施されました。私は人命救助の小隊に配置され、止血方法、担架搬送の救護要領、がれき撤去に必要なジャッキやチェーンソーの操作要領、連絡手段の無線機操作方法を演練しました。その後命令下達を受け、訓練場を離島の現場と見立てCH-47に搭乗し総合訓練会場まで移動しました。訓練は、倒木の下敷き及び家屋倒壊の中に閉じ込められた被災者救出の想定で行われ、被災者の中に外国人が含まれているという設定もあり、語学の資格を有する予備自衛官が活動するという場面もありました。CH-47への搭乗で



訓練開始式

気持ちが高ぶり予備自衛官が一致団結し、実戦さながらの訓練ができ、災害が発生することは期待しませんが、いざ発災した際はこの経験を活かせたらと強く思いました。



訓練風景

【オーツと思わず歓声「富士総合火力演習 研修」】

「近代戦における火力戦闘の実相」をテーマに実戦を想定したあらすじに沿って攻撃を展開し、それぞれの装備の能力や特性が披露され、正確に命中、弾着させる精度の高さと機動力、そして火炮発射の際の凄まじい轟音と衝撃波を肌を感じ感動しました。今や一般公開がなくなったこの演習を見学でき感激です。



富士総合火力演習見学

【感無量、陸上幕僚長より「永年勤続（30年勤続）」の表彰状授与】

市ヶ谷駐屯地において、森下陸上幕僚長の訓示で仕事をしながら予備自衛官に志願し、招集訓練に励んでいることに對して「心から敬意と感謝を表したい。」「期待と注目は高まっている国民と自衛隊の架け橋になつてほしい。」との激励をいただきました。その後、永年勤続表彰で表彰状を授与し、感無量でした。

また、即応予備自衛官でもあり吉本のお笑い芸人でもある「ちっぴいちゃんズ」上岡千夏さんの能登半島地震災害派遣体験談の聴講や市ヶ谷記念館見学等と充実した研修でした。

最後に今年度の中央訓練は予備自衛官制度創設70周年の節目に当たり、木原稔防衛大臣や統合幕僚長等の高官参列の祝賀会も実施され、記念すべき訓練に参加できたことを大変光栄に思います。今回、貴重な体験の機会を与えていただいた部隊等の皆様へ感謝致します。



永年勤続表彰状授与



木原稔防衛大臣と

退職自衛官を採用して

雇用企業主等の声

熊本電気鉄道株式会社
代表取締役社長
なかしま けいこう
中島 敬高 様



1 企業の概要及び事業内容等

弊社は、1909年（明治42年）に熊本 菊池間の物資及び人員輸送を担う鉄道事業からスタートしました。現在では、鉄道事業以外に乗合バス事業など公共交通事業を基幹として、観光事業、保険代理店業、不動産業、電力販売事業など様々な事業を展開しております。

様々な事業を通して地域住民の生活を支え、共に成長しながら社会に貢献している会社です。これは、「地域とともに、地域住民のために」という弊社の基本理念になっております。

弊社の公共交通事業の事業エリアには、開発が進む合志市や、TSMCの進出によりいまや日本中から注目されている菊陽町が含まれており、公共交通のニーズは高まっております。地域の期待に応えながら、従業員の生活を守り、会社も成長させることで、お互いが繁栄しあえる社会の実現を目指しております。

2 退職自衛官の採用理由

退職自衛官の皆様は、規律を重んじ勤勉で真面目な方が多いという印象です。これは、お客様に「安心、安全、快適」を提供する上で非常に大切な事だと考えておりますので、積極的に採用をしております。

3 退職自衛官の職務内容及び勤務の様子

現在、弊社に在籍している退職自衛官の方はバス運転士として働いて頂いております。

当社のバス運転士は様々な経歴の方が働いており、また営業所が1つしかないことから、バス運転士同士で交流する機会が多く公私ともに助け合いながら勤務をして頂いております。

それぞれの志を持って！

予備自衛官への第一歩！

令和6年7月採用
予備自衛官補辞令書交付式を実施

7月10日（水）、熊本地方合同庁舎において、令和6年7月1日付で採用された予備自衛官補の辞令書交付式を実施しました。

予備自衛官補制度は、主として自衛官未経験者を予備自衛官補（一般・技能）として採用し、一般は3年以内に50日、技能は2年以内に10日の教育訓練に参加し、必要な知識・技能を修得した後、予備自衛官として任用される制度で、今年1月に発生した能登半島地震、令和2年の新型コロナウイルス感染拡大防止及び熊本豪雨災害等に係る災害派遣活動において予備自衛官補出身の予備自衛官が活躍したことから注目されている制度です。

当日は、一般で採用された8名の予備自衛官補が辞令書交付、宣誓、制度説明等に参加しました。

辞令書交付の予行では、初めての自衛隊の行事に戸惑い、緊張している様子がうかがえましたが、本番では皆一様にきびきびとした動作を見せていました。

また、本部長から各人に辞令書が手渡しされ、一人一人に「よろしくお願ひします。」と声をかけられると、さらに引き締まった表情になり、続く「宣誓」では全員でしっかりと口調で宣誓書の文言を読み上げるなど、意識の高さが感じられました。

さらに予備自衛官補の制度説明では、予備自衛官任用までの流れ及び教育訓練参加時の予備知識等を真剣に聞く姿が見られました。

40代の参加者からは「今年から上限年齢が緩和され、憧れていた予備自衛官への第一歩を踏み出すことができました。仕事と訓練の両立は厳しいですが予備自衛官への任用を目指し頑張りたいです。」と力強く話していました。



集合写真



辞令書交付

宣誓

初夏の青空を飛びまわる

～西部方面航空隊創隊・高遊原分屯地創立記念行事支援～



缶バッジ上手にできました



ヘリコプターによる編隊飛行



パネル展示



フォロワー登録ありがとうございます



顔出しパネルどれにする？



担当者による丁寧な説明

熊本地本は、自衛隊募集広報ブースにおいて、募集説明コーナー、自衛隊説明パネル展示、自衛隊缶バッジ作成体験、制服試着等の多くの催しを実施しました。なかでも、缶バッジ作成体験は好評であり、順番待ちをしているお子さんは待ち遠しく、熱いまな

本記念行事は、2年ぶりの開催となり、心待ちにしていた多くの方々が早朝から入場口に長蛇の列を作り開場時間を待っていました。来場者は、人気のV-22オスプレイや輸送ヘリコプター47JAなどの装備品展示や分屯地所在部隊による訓練展示を楽しんでいました。当日は記念行事開催を祝うような快晴であり、青空を飛行する機体を多くの方が写真に収めていました。

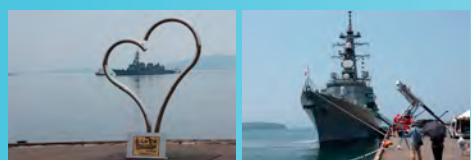
5月19日(日)、高遊原分屯地で行われた「西部方面航空隊創隊63周年高遊原分屯地創立53周年記念行事」において、自衛隊募集広報ブースを出展しました。

また、募集説明コーナーでは以前から自衛隊に興味があった方や、本記念行事をきっかけに自衛隊について知りたいと感じた多くの方が訪れ、「自衛隊に入隊するにはどうすればよいですか」と大学生から質問を受けた担当者はパンフレットを手に懇切丁寧に説明し、「わかりました。ありがとうございます」と感謝の言葉を受けていました。



V-22 オスプレイと記念撮影

自衛隊に入隊するにはどうすればよいですか」と大学生から質問を受けた担当者はパンフレットを手に懇切丁寧に説明し、「わかりました。ありがとうございます」と感謝の言葉を受けていました。



10年ぶりに護衛艦が入港！



第69回 恋龍祭 みなまた港フェスティバル



5月25日(土)、26日(日)の両日、水俣港において水俣商工会議所が主催する「第69回恋龍祭(みなまた港フェスティバル)」を支援しました。

恋龍祭は昭和31年、水俣港が貿易港に指定されたのを機に「みなまた港まつり」として開催されるようになりました。水俣港に艦艇が入港するほか、様々なイベントを同時開催して始まり、現在は水俣の沖合に浮かぶ「恋路島(こいじしま)」と市街地を見下ろす「龍山(たつやま)」から付けられた「恋龍祭」に名称を変え、長年水俣市民に親しまれている水俣市最大のイベントです。

イベントは、自衛隊をはじめ、海上保安庁の巡視艇、国土交通省の環境整備船等が参加しイベントを盛り上げました。会場は夏日の気温に加え、多くの来場者で賑わいを見せ、熱気にあふれていました。

自衛隊エリアでは、海上自衛隊の護衛艦「きりさめ」(佐世保基地)が一般公開を行い、76mm速射砲及び高性能20mm機関砲の

自衛隊エリアでは、海上自衛隊の護衛艦「きりさめ」(佐世保基地)が一般公開を行い、76mm速射砲及び高性能20mm機関砲の



西部方面音楽隊による演奏



迫力の装備品展示



ガチャポンは子供に大人気



ここで見られない花火と電灯艦飾のコラボ

来場者からは「護衛艦は大きくてカッコイイ」「陸上自衛隊の装備品は迫力がある」と自衛隊の装備品に感激する声が聞かれました。イベント初夜には花火も開催され、「きりさめ」の電灯艦飾が花火の鮮やかさに彩を加え、来場者を魅了しました。

陸上自衛隊の西部方面特科連隊第1大隊(北熊本駐屯地)は19式装輪自走155mm榴弾砲及びFH70を展示しました。同じく西部方面音楽隊(健康駐屯地)が「きりさめ」をバックに音楽演奏を披露しました。募集広報ブースでは、佐世保地方総監部広報推進室のブルーマリンオペレーション、北熊本駐屯地曹友会とともに自衛隊の活動のパネル展示やオリジナルグッズの配布、制服の試着体験等を行い、来場者の自衛隊に対する理解を深めました。

陸上自衛隊の西部方面特科連隊第1大隊(北熊本駐屯地)は19式装輪自走155mm榴弾砲及びFH70を展示しました。同じく西部方面音楽隊(健康駐屯地)が「きりさめ」をバックに音楽演奏を披露しました。募集広報ブースでは、佐世保地方総監部広報推進室のブルーマリンオペレーション、北熊本駐屯地曹友会とともに自衛隊の活動のパネル展示やオリジナルグッズの配布、制服の試着体験等を行い、来場者の自衛隊に対する理解を深めました。

作動展示では来場者から驚きの声がかれました。水俣港に護衛艦が入港したのは平成26年以来、約10年ぶりとなりました。

偵察用オートバイでエンジョイ



COOL!!

6月15日(土)、JR熊本駅前アミュひろばで行われたイベント「エンジョイバイクの日」において、自衛隊募集広報ブースを出展しました。

本イベントには、さまざまなバイクを目的に愛好家が集まること及び交通機関利用者、買い物客が往来し多くの来場者が見込まれ、自衛隊をより知ってもらう絶好の機会と捉え参加しました。

自衛隊からは、陸上自衛隊第8師団第8偵察隊の偵察用オートバイを展示。来場者は興味津々で「排気量は何CCですか?」「どこのメーカーが作っていますか?」等の質問を担当者に投げかけ、バイク談義に花を咲かせていました。

その他にも、自衛隊缶バッジ作成体験、募集説

明コーナーの催しを実施しました。缶バッジ作成体験は毎回好評であり、いろんなデザインがある中、今回はジャンプしている偵察用オートバイを選ぶ方が多く見られました。缶バッジを作ったお子さんにカメラを向けると最高の笑顔で写真に納まってくれました。

また、募集説明コーナーでは「防衛医科大学校看護学科学生について知りたい」とパンフレットを持ち帰る方や公務員に興味があり、自衛隊について説明を受ける制服姿の学生が見られました。担当者は、パンフレットを手にわかりやすい説明をおこない、説明を受けた方々は理解されて帰っていました。



バイク好きの方が大勢来場されました



将来は偵察隊!



缶バッジ作成体験



大人気! マッチョパネル



缶バッジ上手にできました

SMILE

